



2023年8月22日

堀江織物 株式会社との

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

岐阜信用金庫(理事長 好岡 政宏)は、脱炭素化社会実現に向けた取り組みの一環として、堀江織物 株式会社(代表取締役 武田 浩志)と、「ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン(以下、ぎふしんSLL)※1」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

独自スキームによるサステナビリティ・リンク・ローンの実行は、信用金庫業界で初の取り組みとなります。

ぎふしんSLLは、達成すべき目標を二酸化炭素(CO₂)排出量の削減に限定し、脱炭素化に取り組む地域企業を資金調達面と脱炭素化に向けたアドバイス・サポート面で支援するものです。

岐阜信用金庫は、地域金融機関としての責任を果たしつつ、地域のお客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

記

【契約内容】

融資金額	70百万円
期間	5年
資金使途	事業資金

【企業概要】

発行企業名	堀江織物 株式会社
所在地	愛知県一宮市高田字七夕田 28 番地
代表者	武田 浩志
事業内容	繊維製品製造販売業
資本金	10百万円
設立	1969年7月21日

以上

【お問合せ先】

価値創造部 価値創造課 木下・村瀬：(058)-266-2237

※1 ぎふしんサステナビリティ・リンク・ローン

本商品は、サステナビリティ・リンク・ローン原則^{※2}等に基づき、脱炭素（カーボンニュートラル）に特化したローン商品であり、地域事業者の脱炭素経営のすそ野を広げ、お客さまと共に脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指します。

なお、地域の中小企業においては、自社の脱炭素の取り組みについて各種認証の取得や第三者の客観的な評価を得ることへの負担が大きいという課題があることから、岐阜信用金庫では、お客様のCO₂排出量の測定やレポーティングを低負担で行える「サステナビリティ・リンク・ローン」のフレームワークを開発しております。

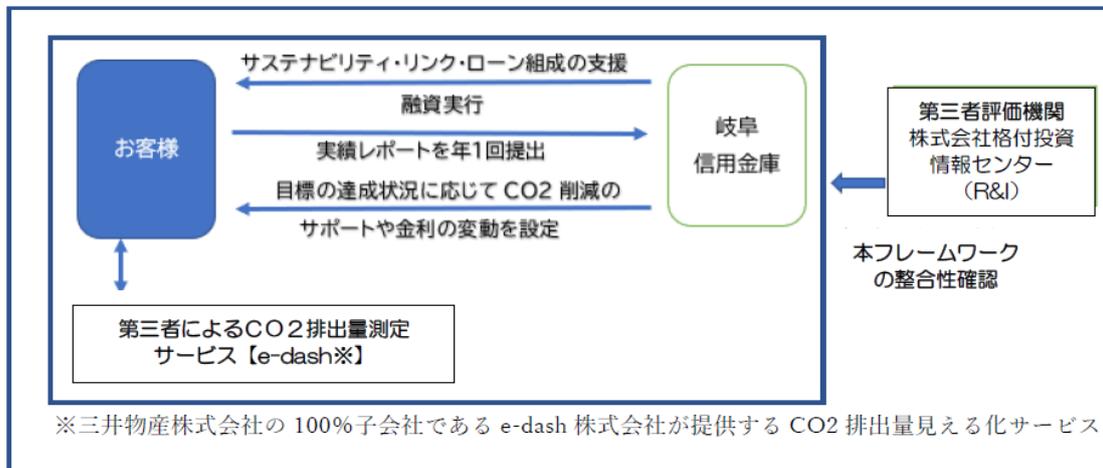
岐阜信用金庫は、このフレームワークによりCO₂排出量の削減目標と実績の評価を適切に行うことで、お客さまの脱炭素に関する取り組みの見える化を支援いたします。

なお、当金庫が策定したサステナビリティ・リンク・ローン融資フレームワークは、信用金庫業界では初めて、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりサステナビリティ・リンク・ローン原則等に整合しているとの確認を取得しております。

※2 サステナビリティ・リンク・ローン原則

サステナビリティ・リンク・ローンは、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促し、支援することを目指すものとして、世界的な金融機関の代表で構成される作業部会によって策定された原則。

□スキーム図



2023年8月22日

堀江織物株式会社

ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローンの取り組みについて

岐阜信用金庫
ソリューション営業部

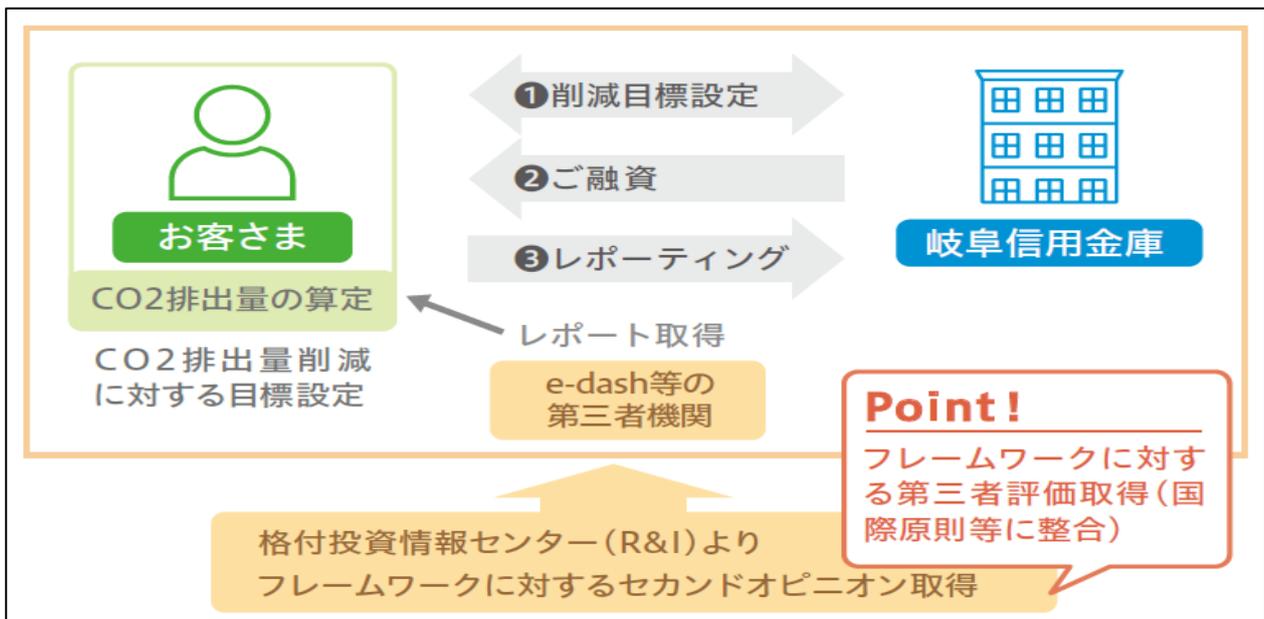
岐阜信用金庫は、2023年3月7日、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、CO2排出量（総量又は原単位ベース）の削減率をKPIとして策定した融資フレームワーク「ぎふしん サステナビリティ・リンク・ローン（以下、ぎふしん SLL）」が、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022年版」に対して整合的であるとの評価を取得しています。

《ぎふしん SLL フレームワークに対する R&I の評価について》

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2023/03/news_release_suf_20230307_jpn_1.pdf

岐阜信用金庫は、ぎふしん SLL の融資フレームワークにて、CO2 排出量の削減を推進する堀江織物株式会社の資金調達を支援いたしました。

【岐阜信用金庫の実施体制】



1. 借入人の概要

(1) 事業概要

- ・堀江織物株式会社（以下、当社）は、愛知県一宮市にてポリエステルを中心とした布への印刷・加工業を営んでいる。時代のニーズに合わせて、シルクスクリーン印刷やデジタルプリントによるデジタル染色などサービスの充実化を図り、顧客ニーズに対応している。
- ・取扱可能な生地は 100 種類を超え、のぼりや横断幕などの「広告宣伝幕」の製造・販売や企業ノベルティなどの布を使った「オリジナルグッズ」の製造を手掛けている。近年では、火災への意識の高まりから防災商品のニーズが増しており、防災加工についても公益財団法人日本防災協会の認定企業で、各種防災製品や防災物品の製造を手掛けている。
- ・上述の通り、様々な生地に対応できることに加え、印刷から縫製・加工・出荷まで社内で一貫製造できることが大きな特徴となっている。



当社 HP : <https://horieorimono.co.jp/>

【取扱商品】

- 広告宣伝幕（のぼり、横断幕、懸垂幕、三角フラッグ、タペストリーなど）
- OEM グッズ（タペストリー、抱き枕カバー、ブックカバー、クッションなど）
- デジタルテキスタイルの製造・販売
- 紅白幕、のぼり設置器具の販売

《取扱商品の一例》



2. KPI の選定

(1) KPI の概要

- ・KPI は当社における指定事業場単位の CO2 排出量（原単位ベース）の削減率である。

3. SPT の設定

(1) SPT の概要

- ・SPT は、2022 年 3 月期との対比で、2028 年 3 月期に CO2 排出量を 16.8%削減するものとして設定した。
- ・CO2 排出量の判定は、決算期ごととし、初回判定は 2025 年 3 月期とする。なお、基準年は 2022 年 3 月期とする。

SPT				
決算期	2025/3	2026/3	2027/3	2028/3
2022 年 3 月期比削減率	▲4.2%	▲8.4%	▲12.6%	▲16.8%

(2) SPT の野心性

①SPT の水準感

- ・当社は中小企業版 SBT の認定取得を目指しており、2022 年 3 月期比で 2025 年 3 月期以降 2028 年 3 月期まで、SBT の CO2 排出量削減の指標となる 4.2%/年の CO2 排出量削減を本ローンの SPT として設定した。
- ・なお、国内の中小企業で SBT の認定を取得している企業は 224 社（2023 年 3 月 1 日現在）にとどまる。

②SPT の達成手段

- ・当社の CO2 排出量において多くを占めるのが、本社工場およびオンデマンド工場で使用する電力である。
- ・CO2 排出量の削減に取り組む手段として、「工場屋根への太陽光発電設備の導入」と「CO2 フリー電力の購入」を計画している。
- ・本社工場の屋根には、2022 年 12 月に太陽光発電設備を設置している。今後、オンデマンド工場の屋根に太陽光発電設備の設置を計画している。
- ・必要に応じて使用電力を CO2 フリー電力に切替する。

③SPT の野心性

- ・2022 年 3 月期を基準として、2025 年 3 月期から 2028 年 3 月期まで、毎年 4.2%の CO2 排出量削減を目標としている。年 4.2%の削減目標は、大企業においてもトップレベルの水準であり十分に野心的といえる。

(3) SPT の妥当性

- ・岐阜信用金庫は当社との対話や提出資料に基づき、SPT を設定した。設定した SPT はぎふしん SLL の想定する CO2 排出量削減率の基準を満たすものである。

4. ローンの特徴

- ・優遇金利を前提とすることで CO2 排出量削減を動機付けている。
- ・当初から優遇金利を適用しているため、SPT 達成時に追加で金利引き下げは行わない。
- ・単期で SPT が未達成となったとき、目標を達成するための事業計画の作成を求める。
- ・2 期連続で SPT が未達成となったとき、融資金利を 0.1%引き上げる。
- ・以後、SPT 未達成が続く限り、融資金利は引き上げられたままとする。
- ・上記のようなローン設計により、貸出条件と当社の SPT に対するパフォーマンスが連動しており、SPT の目標達成のインセンティブとなっている。

5. レポートニング

- ・当社は岐阜信用金庫に対し毎年 1 回、SPT の達成状況について報告する。

6. 検証

- ・KPI の実績値に関して、当社は第三者機関から検証を受けたレポートニング資料等を岐阜信用金庫に報告する。
- ・岐阜信用金庫はレポートニング資料等の内容から SPT 達成の判定について評価する。

以上